

グラウンド・ゴルフによる地域振興 グラウンド・ゴルフの国際化によるインバウンドの促進

鳥取県湯梨浜町長 宮脇 正道



グラウンド・ゴルフの生い立ち

グラウンド・ゴルフは、鳥取県湯梨浜町で誕生しました。1982年(昭和57年)、文部省が生涯スポーツ推進のため、新たなスポーツを考える自治体への助成制度を創設。合併前の泊村が手を挙げ、大学や運動用具メーカー、木工会社などの協力を得て考え出しました。ルールが簡単で子どもから大人まで誰でも楽しめること、仲間づくりに適していることなどからたちまち全国に広がり、1982年(昭和57年)に泊村グラウンド・ゴルフ協会が設立された翌年には、鳥取県グラウンド・ゴルフ協会及び日本グラウンド・ゴルフ協会も設立されました。

最初の全国大会

その後、1988年(昭和63年)に第1回全国グラウンド・ゴルフ交歓大会を、泊小学校の全面芝の運動場で開催。全国から700人が参加し、盛大な大会となりました。日本の海水浴場百選に選ばれた

「石脇海水浴場」の海の家で行われた交流会は、地引網で獲れた魚を地元漁師達がその場で調理、振るまつたほか、泊貝がら節の歌や踊りなども披露され、沖縄の三線や指笛の音も飛び交い、飲めや歌えの大盛況となりました。小さな村の村民の想いが参加者に伝わり、友好が深まった交流会として、今も語り草になっています。



第1回全国交歓大会(石脇海水浴場での交流会)

全国大会の開催と専用コースの整備

翌年、1989年(平成元年)からは、「グラウンド・ゴルフ発祥地大会」として毎年開催し、1993年(平成5年)から

は、会場を「グラウンドゴルフのふる里公園・潮風の丘とまり」に移しました。この公園は、国の「ふるさと創生事業」を活用して整備したもので、アウト、イン、岬



開園時の「潮風の丘とまり」(アウトからインコースを望む)

の3コース(24ホール)や多目的広場のほか、延長340mのスーパースライダー、恐竜を配置した探検の森なども備え、子どもたちも楽しめる施設になっています。発祥地大会は、今年が29回目でしたが、毎年定員(768人)を超える応募があり、抽選で参加者を決定しています。また、潮風の丘とまりの年間利用者数は概ね5万人、6万人、年間200件程度の大会が開催されています。1997年(平成9年)には、全都道府県に協会が設立され、日本グラウンド・ゴルフ協会の公認コース

も271を数え、国内の愛好者数は、約350万人といわれています。

課題と対応

グラウンド・ゴルフの課題は、愛好者の高齢化です。そのため、2009年(平成21年)から文部科学省の「スポーツの拠点づくり」の採択を得て、「ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会」を開催しています。今年が9回目ですが、夏休み期間中とはいえ全国から小学生を集めるのはとても困難で、交通費の支援、サザエ獲りや船上魚釣りなどのオプションを設け、付添者の大会も併催しています。また、昨年、日本グラウンド・ゴルフ協会が、グラウンド・ゴルフの健康への影響を調査、健康効果が確認されました。これらの取り組みを通して、愛好者を増やしていきたいと考えています。



第28回発祥地大会開会式(プレーヤー宣誓)

地域振興のための取り組み

現在、地方創生の一環として、グラウ

ンド・ゴルフに關し、3つの施策を進めています。まず、グラウンド・ゴルフの国際化です。ゴルフを世界に広め、交流人口の拡大を図ろうとするもので、既に



H29.2.23タイ保健省高齢者衛生局にてPR

グラウンド・ゴルフが普及している上海、台湾、韓国などと交流を深める一方、多言語ルールブックや紹介DVDを制作し、未普及の国への訪問活動などを展開(これまで7か国10地域)しています。

次に、国際大会の開催です。昨年10月、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」でのグラウンド・ゴルフの当町開催が決定しましたが、それに備え、2014年(平成26年)、国際交流員等国内在住の外国人を対象に「国際交流大会」を開催し、翌2015年(平成27年)には、4か国128人の海外参加者を含む149人の参加による「第1回グラウンド・ゴルフ国際大会」を開催、昨年の第2回大会は、5か国65人の海外参加者を含む176人の参加でした。今年10月に開催予定の第3回大会では、海外からの参加国が初めて10か国を超え

る予定です。

三つ目は「潮風の丘とまり」の聖地化です。発祥地にふさわしい公園にするため、表示の多言語化、トイレの改修、ロッカーの整備などを行ってききました。今後は芝の張り替えなども



第2回国際交流大会(H28.10)

また、はわい温泉・東郷温泉等の観光資源や泊漁港の陸上養殖施設「海の駅とまり」、ウオーキングなどとリンクさせた企画商品の開発などにより、町の魅力を高めます。

最後に

「グラウンド・ゴルフを世界に」というのは壮大な計画ですが、海外で話をしてみますと、健康寿命の延伸は、各国共通の課題です。今後、国際的な組織を設立し、グラウンド・ゴルフを世界に発信、用具の確保やルールの統一に加えて、国内と海外の協会の情報交換、大会への相互参加などにより、交流を促進、多くの人が集まり活気のある町づくりを進めてまいります。